

平成19年3月26日発行

* * * * *
* * * * *

担い手育成・品目横断的経営安定対策推進メールマガジン（第65号） *

* * * * *
* * * * *

インデックス

【1】平成18年度優良担い手表彰 農林水産省経営局長表彰受賞者の取組のご紹介（No.2）

（全国担い手育成総合支援協議会発）

【2】全国担い手育成総合支援協議会の「19年度アクションプログラム」について

（全国担い手育成総合支援協議会発）

【3】地域の話題等

和歌山県における品目横断的経営安定対策の加入推進の取組

（和歌山県全域、近畿農政局発）

【1】平成18年度優良担い手表彰 経営局長表彰受賞者の取組のご紹介（No.2）

（全国担い手育成総合支援協議会発）

全国担い手育成総合支援協議会では、望ましい農業構造の実現に向けて、毎年度、農業経営の改善に積極的に取り組み、地域農業の振興や活性化に寄与している、意欲と能力のある担い手の優良事例を表彰しています。

今号では、[優良認定農業者]個人・施設等型部門で農林水産経営局長賞を受賞された方々をご紹介します。

[優良認定農業者]

個人・施設等型部門

埼玉県深谷市（ふかやし） 植竹 光男（うえたけ みつお） 氏

球根切り花（ユリ、チューリップ、アスター、小菊）の複合経営で、高品質栽培と周年出荷を実現しています。主力のユリでは経営面積を5年前から25a拡大するとともに、生産量も28万本から35万本へ増やすことにより、当初の目標としていた収量を達成し、所得（専従者分は除いたもの）も2倍以上増加しています。

販売先は、JAふかやの共選や市内の農産物直売所3店舗など幅広い販路を確保しているほか、慶祝用の花束の直販、華道教室への直販など多様化を図っています。

氏は、深谷市で第1号の家族経営協定を締結し、経理は奥様が担当するなど経営内での役割分担を明確にしています。また、奥様は、JAの青色申告研究会女性部を立ち上げ、経営管理の指導者としても活躍中です。

大阪府河内長野市（かわちながのし） 垣内 周教（かきうち のりみち） 氏
消費者の「ここにしかない」というニーズを満たすため、特別な品種・品目をあえて選択し、収穫期間の延伸や労働競合の回避を考慮しながら、効率的な多品目栽培（ブドウだけで16品種）を実現しています。

販売方法は、4つの販売先へ割り振り、確実に売上が伸びています。また、自らも直売所を設置して直接販売するほか、得意先へも訪問販売するなど戦略的なマーケティングを展開しています。

徳島県阿南市（あなんし） 田村 能洋（たむら よしひろ） 氏

第1回目の認定では、ハウスみかんの栽培面積拡大と加温スタチの導入で20aの経営規模の拡大を達成しました。さらに、EM農法（微生物を使った土づくりの農法）を導入し、EMボカシ（微生物の働きを利用した堆肥）の利用と農薬散布を最小限に留めた栽培方法で単収を増やし、導入4年目で県平均単収の1.3倍を上回る6トンを超える成果を上げました。この農法により、消費者のニーズに応えた味、玉太り、色つやなどの品質向上と化学肥料を抑えた環境に優しい農業を実践し、結果的に当期利益は前年比19.2%増益しています。

一方、夫婦間で家族経営協定を締結し、毎月の経営収支の点検と経営内容の把握を常時2人で行っています。平成17年に徳島県指導農業士に認定され、地域農業の指導的役割を担ってきました。

熊本県玉名市（たまなし） 高峰 務（たかみね つとむ） 氏

2回目（平成12年）の認定時に、果樹の価格低迷を補うため、新たに施設園芸作物としてトマトを20a導入。水田作、麦作と併せ、ハウスミカン、ハウスデコポン等、作付品目の多角化で経営リスクの分散と経営安定を目指しながら、経営規模の拡大を図っています。特に、平成18年には、トマト施設を8ha規模拡大し、着実に売上も増加しています。トマトハウスでは、自動開閉装置・自動灌水施設を設置し、作業の効率化を図る一方、減農薬への取組で、エコファーマーの認定を受けています。

現在は、経営の安定のため、品目横断的経営安定対策に加入し、19年産の麦作4haの作付計画と、米作1.8haの作付けに着実に取り組んでいます。

大分県豊後大野市（ぶんごおおのし） 安藤 豊作（あんどう とよさく） 氏
経営の柱を労働負担の大きい椎茸部門から肉用牛に転換。条件不利地域ながら、里山林間放牧などで工夫し、大規模経営を実現しています。その結果、収入、所得ともに10年前の第1回認定時から約3倍に伸ばしています。

具体的な経営手法としては、機械共同利用組合を活用して機械の共同利用を行うことにより、自給飼料生産でコストを軽減させ、その分の労力を子牛の飼養管理に振り替えました。また、奥様が人工授精士の資格を取得して受精卵移植等にも取り組み、繁殖率を向上させました。このような取組により、売上げ至上主義の経営戦略から、需給状況や市場変化に対応して、利益確保ができる効率的な経営を実践し、現在では、74頭（牛舎2棟、計1,580平方m）の経営規模となりました。

現在の経営は、奥様と二人三脚で経営方針の模索・計画・実践・検討を行っていますが、10年に及ぶパソコン簿記や家族経営協定の成果によるところが大きいことが特徴の一つです。このような取組が評価され、平成17年には大分県農業賞最優秀賞（県知事賞）を受賞しています。

3月15日発行のメールマガジン中、笠原氏の記事で「・・・所得も、最初に認定してから10年間で約5倍増加しました」と掲載しましたが、「(同)約1.7倍増加しました」の間違いでした。訂正してお詫び申し上げます。

・問い合わせ先：全国担い手育成総合支援協議会 事務局

全国農業会議所 農政・担い手対策部（鈴木、安部） TEL:03-5251-3906

全国農業協同組合中央会 営農・担い手対策室（宇野、奈良） TEL:03-3245-7658

【2】全国担い手育成総合支援協議会の「19年度アクションプログラム」について （全国担い手育成総合支援協議会発）

全国担い手育成総合支援協議会では、毎年度、当該年度の担い手の育成・確保の目標値とその目標の達成のために取り組む事項を定めた「アクションプログラム」を策定していますが、「平成19年度アクションプログラム」について次のとおり、3月16日（金）に開催された同協議会総会において決定されましたのでお知らせいたします。

この「平成19年度アクションプログラム」においては、今後育成・確保すべき認定農業者数、集落営農数、農業法人数等が、具体的数値目標として掲げられています。

具体的には、全国担い手育成総合支援協議会のホームページ上で掲載していますので、こちらをご確認ください。

http://www.nefam.jp/main/guide08_19.html

【 3 】 地域の話題等

和歌山県における品目横断的経営安定対策の加入推進の取組

(和歌山県全域、近畿農政局発)

和歌山県における品目横断的経営安定対策の取組は、4月からの米ナラシ対策が中心となることから、加入受付を前にした2月6日、担い手担当機関(県担い手協、和歌山県、JA中央会、農政事務所)で打合せを行い、今後の具体的な加入推進活動について確認しました。

これまでの県振興局単位の農家説明会や農業委員の研修会等での周知活動に加え、加入対象予定者に個別に働きかけを行うこととし、水稻作付け面積2ha以上の農家を中心に、県振興局、農政事務所及び市町村でリストアップを行い、現在、農政事務所を中心に個別に働きかけを行っているところです。また、この規模以下でも所得特例により対象者要件を満たせる方については、市町村、振興局が中心となって周知活動を行っています。

和歌山県については米の検査率も低く、農家の販売形態としては未検査米の直販が主流を占めていますが、説明に興味を持った生産者からは、加入についての具体的な問い合わせも来ています。

また、周知活動として、地元ラジオ局の情報番組やインフォメーションコーナー、JA和歌山県農の提供する番組で品目横断的経営安定対策をとりあげてもらうなど、マスメディアを使った周知活動も3月下旬～4月にかけて集中的に行う予定です。

これまでのところ、加入要件を満たしている農業者は極限られていますが、担い手に対する集中的支援対策も含め、担い手関係機関が連携して対象予定者をフォローアップしていくこととしています。

- ・お問い合わせ先：和歌山県担い手育成総合支援協議会(TEL：073-432-6114)
和歌山県農林水産部農林水産総務課(TEL：073-441-2864)
和歌山県農業協同組合中央会(TEL：073-426-8014)
和歌山農政事務所農政推進課(TEL：073-436-3832)

< 編集後記 >

いよいよ春・・・、昔から桜の開花は農作業の準備の目安と言われ、季節の移り変わりが生活の尺度となっていました。

今年の桜（ソメイヨシノ）の開花予想は、暖冬の影響もあり、全国的に平年より早めといわれています。東京では、3月20日に開花発表がありました。皆様の地域ではいかがですか？

さて、農作業の準備とともに、品目横断的経営安定対策の申請準備にも取りかかりましょう！

本メルマガでは、皆様に活用されるメルマガを目指し、担い手育成活動の優良事例等を紹介していきます。皆様の地域での事例、ご意見、メルマガの感想等を下記アドレスまでお寄せください。

電子出版：担い手育成・品目横断的経営安定対策推進メールマガジン

発行日：随時発行（週1回程度）

発行元：農林水産省 経営局 経営政策課

お問い合わせ先の電子メールアドレス：keiei_seisaku@nm.maff.go.jp

このメルマガの配信申込み、バックナンバーはこちらから。

<http://www.maff.go.jp/ninaite/mailmagazine.html>

農林水産省担い手ホームページもご覧ください！

～品目横断的経営安定対策を含む担い手への支援策、認定農業者数等、担い手情報満載！！～

<http://www.maff.go.jp/ninaite/>